



報 窓 同 工 会

2005

校 歌

嶺は秀づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤秀霊の
精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤労一すじに
進む健児の意気高し

時つ嶺は嶮しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校



『百周年記念 事業の御礼』 同窓会長 梅津正夫

周年を迎える事となり、記念事業の一環として母校へ桜の苗木百本が寄贈され、3月26日に植樹祭が挙行されました。

最後に、本校の発展に多大なる貢献をされました故・松江春次氏についての番組が福島放送で年末にもテレビ放映される事が決定致しました。さらに、ドキュメント映画と自叙伝・絵本と、立て続けにクリエイティブ21（東京）にて制作される予定でありますので、同窓会としても出来る限り協力して行きたいと考えております。皆様のさらなる御理解と御協力をお願い致しまして挨拶とします。

同窓会会員の皆様、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年、10月に百周年記念誌が滞り無く発刊され、高額寄付者に対しまして感謝の意を込め贈呈させて頂きました。事業も準備段階より長きに亘りましたが5月には収支報告まで全て終える事が出来ました。この紙面をお借りしまして今まで御協力を頂きました多くの方々に心より御礼を申し上げます。

さて3月1日には、新制高校の卒業生総数が記念すべき2万人を突破しました。各地域において、今後とも御活躍頂ける事を祈念いたします。

また、東京会工会が2011年に百



東海会工会 近況報告

新会長 星 芳雄

(昭36E卒)

年記念事業
桜苗木植樹

〔学校関係者〕
熊田校長・渡辺教頭・白井教頭・渡部事務長・梨子本先生・岩淵先生・渡部（鉄）先生
〔PTA関係者〕
佐藤会長・五十嵐副会長・菊地副会長
〔同窓会関係者〕
吉田顧問・梅津会長・手代木利夫副会長・手代木徳夫副会長・平田副会長・坂場副会長・若狭幹事長
《東京工工会》
荒井会長・岡島副会長・金子副会長・五十嵐幹事長・田中副幹事

A circular black and white portrait of Dr. R. K. Singh, a middle-aged man with glasses, wearing a light-colored shirt. The background of the portrait shows a bookshelf filled with books.

母校への恩返しに

咲かせようという願いを込めて、東にスウェーデン、西にオーストリア、南にオランダ、北にドイツをかけた「井倉共済会」の母校を創設した。

十年、二十年後の華やかな学校を見るのが楽しみと期待して、

引退後、食食会を開き、出席者数増加の源を求めた。

植樹の成功を祈った神



我が東海会工同窓会の現況をみますと若人が集まらず、毎回同じ顔ぶれで参加人数もほぼ同一です。今後若人を集めるべく各地区の責任者より電話を入れる頂き、又同期卒業者同志間で連絡を取合い、同窓会総会だけでなく日常より親密な人間関係が出来れば、又楽しい同窓会となり話題が盛り上がるのではないかと思います。皆様との協力を得て少しでも発展出来ればと思っています。今年度の事業計画は、

6月 総会
7月 板取川、鮎歩紀行
10月 ゴルフ、コンペ

近畿会工

彦根親睦旅行記

会長 渡部 藤雄

近畿会工会

彦根親睦旅行記

会長 渡部 藤雄
(昭和31E卒)

昨年11月20日11時30分、近畿会工会の有志9名が、JRR彦根駅に降り立った。今日は、近畿会工会秋の親睦旅行である。

荒井副会長と大竹事務局長が幹事役で、彦根の観光旅行を計画した。駅前の観光センターから「彦根城下巡回バス」に乗り、市内の名所旧跡を巡りながら彦根港に向かう。

バスは懐かしいボンネット型、車内では観光ボランティアの方が、名調子で案内してくれる。彦根港

の観光船乗り場から、琵琶湖八景の一つ、竹生島行き的高速船に垂る。港の防波堤を出ると、湖とは思えない位波が高くなり、昼食の弁当やビールも思うようにならずに。琵琶湖の大きさを改めて知られる。竹生島には約30分ほどで着く。船着場から20軒ほどの土産店を抜け、竹生島神社を目指す。振向くと眼下が垂直に見えるような急な石段を、二百段位上ると朱塗りの立派な本殿に出る。境内には40・50人ほどの観光客で、お札所は行列が出来るほど。思いの外の賑わいである。さらに数十段の石段を登ると宝厳寺という宝物殿、船着場への途中には竹生島観世音菩薩など、なかなかの見応えである。

400年を経て今なお35万石の雄姿をとどめる、まさに天下の名城である。

城内の一画には水戸藩から贈られたという「二季咲桜」が丁度見頃に咲いている。



彦根城から今宵の宿「かんぼの宿彦根」に向かう段になって一苦行のボンネットバスは、既に運行を終了しており、タクシーを拾おうとしたが、なかなか見つからない。彦根市は観光バスの客が殆どなので、タクシーの流しはな

郡山会工会
鶴を徽章に

幹事長 金田 寛
(昭和21M卒)

この度刊行された『会工百年史』は創立から戦前・戦後・そして現在を歴史の重みを感じ、貴重な後世に残せる治革史であると思います。豊富な資料と文献の収集には大変苦労されたと思います。本当にお疲れ様でした。

郡山会工会の行事としては、本年初めて実施したボーリング大会で、日時は11月6日(土)午後3時30分、郡山ミナミポールで開きました。参加人数は少ないが、先輩の方も若い方も、ポールを持つとプロボーラーの姿となり、我を忘れ

郡山会工

鶴を徽章に

幹事長 金田 寛

7 | 会工同窓会報No.30
'05(平17)総会号

6 | 会工同窓会報No.30
'05(平17)総会号

鶴雲飛翔

・3位 板橋長生(昭36卒業)
以下略
午後5時30分より懇親会『三松会館』参加10名。反省意見 大変よい企画であった。来年はもっと参加者を多くしたい。
◎会務報告
一、定期総会
16年5月16日(土)
午後5時
二、故渡部与四郎(昭26C)
16年6月16日逝去
三、東京会工総会
6月26日 荒井会長出席
四、第一回役員会 7月15日
五、三役会 9月9日
六、ボーリング大会について
10月16日
七、ボーリング大会(略)
八、第二回役員会
17年2月19日
総会について

福島会工会

定期総会は12月15日、24名出席のもと盛大におこなわれた。



猪苗代会工会

猪苗代会工会総会

催す

会長 佐藤 保
(昭33C卒)

去る10月29日、平成16年度の総会を開催いたしました。本部同窓会からは梅津会長、学校より熊田校長、梨子本事務局のご臨席を頂きました。



き、会員16名の出席のなか、まず、校歌斉唱が始まりました。議題として15年度の事業、収支報告に続き16年度の計画の協議がなされました。
一、本校同窓会の参加協力
二、会員相互の親睦事業
三、新会員の勧誘事業
の三本柱とし、親睦事業では屋外活動は制約があるので花見、暑気払い、茸山、など気軽に参加出来る事業。新会員勧誘法としては、地区で開かれる他の会合で同席した際に声をかける。又、同一職場内での誘いを行うなどPRに力を入れる案が出され、いずれもその都度役員会で企画すること、役員改選では全員が再任といたしました。
引き続き懇親会に入り、出席会員の近況報告と間に入れ学生時代の話しを中心に、遅くまで親睦を深めました。最後に「頑張れ」応援歌「鶏鳴三度」B調を合唱し、会員の健康と幸せを祈願して解散いたしました。



REPORT&MESSAGE

西会津会工会

新会長 鈴木 仁
(昭21M卒)



戦後と激動の時代を生き抜いて来ました。洗濯板で一枚々洗ってくれた母の姿。今やスイッチ一つで自動。携帯電話で通信のすべてが出来ると云い、便利な夢の様な時代です。しかし毎日の様に残忍な事件事故と、今までに考えられない様な道義の頹廃。物で、榮えて心で滅びる時代の様相です。
我々の時代は礼、義、仁を家庭、学校教育の中で厳しく教えて頂き、ならぬ事はならぬ、の道義を学ん



湯川会工会

新会長 菅沼章生
(昭29C卒)

だり、懐かしく嬉しい思い出です。価値観の違い、唯心より唯物的な考え方と大きく転換されつつある今日、忘れてはならない日本人の心を、私達世代の者が伝えてゆかなければならない責任の思いにかられている昨今です。素朴な会津人だからこそ出来る事を、己に云い聞かせ乍ら。

緑濃い此頃です。平成17年となつて半年となつていました。湯川会工会がありましたが、自分は古稀同級会です。出席出来ません。来ると、同級会の思い出を胸に帰って来ると、会工より原稿の依頼である。頭がついて来ない。昭和29年3月巣立つた燕も50年も経つて了った。以来一度も学校を訪ねていない。入学当初、学校の廣さに驚いた。足の運んだ事のない教室もあつたと思つてゐる。



担任は小滝先生、科長は塩津先生、佐々木校長で



あつた。日本は工業国だ、と会工に多額の寄贈をされた南洋開発会社の松江春次氏のお話を松江講堂でお聞きした事も忘れられませんでした。今は無色透明人間になつて家事(農)手伝いの私ですが、平成14年7月の首長(村)選の時、小滝先生より、「頑張れ頑張れ健男児」のメールを戴きました。又、百周年記念式典に村の佐野常雄君と出席致しました。風雅堂での生徒諸君の礼儀正しき、校歌応援歌に、涙を押さえる事が出来ませんでした。これは会工の時代です。頑張れ健男児。



坂下会工会

今年度の定期総会は9月1日(木)奈良屋寿司店にて行われました。今回は松江春次翁の縁でサイパンから奨学生を招待し歓迎会も同時に行われました。



坂下会工会より新入生へ記念品贈呈校長室にて



総会のようす。左側前列2番目キース君と安達先生

建友会

建友会の進む道

会長 手代木利夫
(昭28A卒)

我が建友会も今年で46年目を迎えて、歴史と伝統ある会も今後のあり方について考える時期に来たと思ひます。建築科とインテリア科の合併に伴い建築インテリア科となり、18年度卒業で建築科最後の生徒を送り出し、19年度より建築インテリアの生徒となります。



同窓一万五千

至誠勤労

電友会 電友会の近況

会長 手代木徳夫 (昭28E卒)



今後建友会に入会して会員になって行くと思います。新しい会員となる方々を迎えて、会も考えて行かなければならないと思う。今年も例年通り八日会実行委員、各学年より選出された理事の方々の協力により、2月26日(第4土曜日)東山温泉ホテル東鳳において総会を開催し、懇親会に来賓として渡部耕二代議士を始め菅市長、菅家商工会副会長、会工高熊田校長、梅津同窓会長、PTA会長、建築科長及び先生方、設計、建設関係者と賛助会員、各関係者を招待して会員共々198名が出席し開催しました。酒問のあいだに会員と招待者が和気合々と話し合い、有意義な会合でした。紙上を借りて御礼申し上げます。私も会長7年目を迎え、今年度の方針は、会員の和と総会に会員出席者の増強を掲げ、先輩方の会運営方針を継続して行きますが、検討事項として、各学年別選出された理事会のあり方について、今迄の賛助会員のあり方を含めて、時代と共に新しい感覚を取り入れ進めてまいりたいと思います。この問題については今後共、建友会発展のため執行部は最大限の努力を重ねてまいりますので、よろしくをお願いをして進めてまいります。



「電友会」は平成7年6月に、電気科創立50周年を記念して設立されました。会員は電気科の卒業生によつて構成され、会員相互の交流と親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的としています。電気科の卒業生は、今年で55回卒となります。今までの卒業生は2,500名近くになりますが、卒業生の大半は電気技術者として国内

外において各分野で活躍され、その業績は高く評価されており、電友会創立10周年を記念して電気科には、模擬シーケンスを、会員には記念品(会津の風景絵スタンド)を送付いたしました。又、会員皆様による新規会員加入運動が実を結び、会員も220余名となりました。

第10回会工電友会総会報告

平成16年10月23日、開催総会に先立ち電友会創立10周年を記念して記念講演を開催いたしました。演題「電気科創設の頃」として、講師は元会工高電気科科長・元小高工高校長の保志和吉先生にお願いいたしました。会員一同、学生時代を思い出し感動致しました。続いて総会を行い、事業計画として①電友会だよりの発行②同級生代表の選出と充実③会員の増強と組織の充実④会員相互の親睦⑤創立10周年記念講演と記念品の配布が承認されました。役員は次のとおり決定いたしました。

会長 手代木徳夫、副会長 冠木忠之・小沼孝生・小林憲一・山口健・荒明正義、幹事 西村一夫・武藤 栄、会計 荒明正義・星行雄、理事 田部 悟・武藤 栄・鈴木安太郎・渡部昭寿・根本一雄・安西順一・藤田晴史・長谷川与一・浅田 誠、顧問には真田賢祐・栢森幸雄(前会長)を御推薦いたしました。

電友会創立 10周年記念寄贈

電友会は平成7年、電気科創立50周年を記念して、電気科第1回卒真田賢祐氏、電気科第2回卒栢森幸雄氏、第3回卒手代木徳夫氏を中心にして、卒業生の交流と親睦、母校への発展に寄与することを目的として結成されました。創立当時は会員50名近くでしたが、現在約180名になっています。この度、創立10周年ということで、何か後輩の教育に役立つ記念品ということになり、学校側で検討して戴きシーケンス教材(自動制御の学習に必要なもの)を贈ることになりました。

セラ友会

会長 坂場恒雄 (昭34K卒)



会津若松市のホテルいずみやで、7月16日(土)に定期総会を開き、全国セラミック教育研究大会への支援協力などを決めた。

セラ友会は、会津工高セラミック科と窯業科の卒業生らの親睦と母校の発展を目的に活動している。前年度会計報告、本年度事業計画を決め、副会長に浅沼定雄さん、幹事に渡部祐平さんを新役員として補充した。この後、卒業生の水野銀蔵さんを招き「サイパンの思い出」と題し講演を行った。



REPORT & MESSAGE

機友会

去る7月4日、米熊にて定期総会を開き、前年度の会計報告、本年度の事業報告を行なった。役員は現状のまま。



母校の機械科研修部へ激礼金贈呈

三菱伸銅鶴友会

会長 尾崎一憲 (昭41M卒)

一、役員
会長 尾崎一憲(昭41M卒)
金橋宇西袋2359
幹事長 神田修幸(昭41G卒)
会 計 渡部武志(昭56M卒)
二、活動予定

三菱製鋼(旧菱鋼)会工会

近況

会長 小坂橋信正 (昭47F卒)

平成17年2月6・7日、恒例の新年会による総会に於て、役員改選が行われた。会長に私が継続の再任、幹事 齊藤明(平5K卒)、会計 五十嵐規益(平12M卒)、幹事補佐 寺本哲(昭52D卒)、会計補佐 五十嵐慶晴(昭52T卒)。

昭和電工(株)東長原事業所会工同窓会

会長 山口栄喜 (昭46E卒)

日頃より会津工業同窓会には何かとお世話になりお礼申し上げます。当東長原支部は、磐梯山を間近にした緑豊かな地域環境にある河東町東長原谷地地区にあり、この昭和電工の敷地には、昭和電工

以上の通り選任されましたが、今年度より、幹事と会計に経験豊富な補佐役を設け、なおいっそうの充実と絆の連係発展を、目指す事にすべく構成と致しました。酒盛り宴会(懇親会)後に、頑張れ応援歌を、野邊良浩(昭50T)の音頭で毎年絶唱し、飲み直しの合図と相成つて居ります。

追伸
菱鋼製造(株)は、平成17年4月1日付けを以て三菱製鋼(株)との統合により、職域としての会工会名称を三菱製鋼 広田製作所会工会に変更させて頂くと共に、これからは職域として、よろしくご指導の程お願い申し上げます。報告と致します。

働東長原事業所とキャボットスーパーメタル(株)会津工場、中央ケミカル(株)東長原工場等の各社があり、有機化学や無機化学などの化学工場製品と電子材料等の非鉄金属関係の製造を行っており、現在の会工同窓会の会員数は48名で、各会社の責任ある職場で昼夜活躍をしております。

このように三社の企業に勤務している会工会の同窓生で、会工同窓会東長原支部を運営しているものですから、各会社より幹事を選出し、会長並びに副会長等を決め、会員相互の親睦を図り、情報の交換と自己啓発に努めることを目的に活動を行っております。

近状の活動状況をご報告申し上げますと、「会工同窓会東長原支部会則」の規約に則り、毎年4月に総会を開催し、前年度の反省及び今年度の活動内容等を決定し、各種活動を行っております。

その他の会工同窓会の活動につきましては、芋煮会や送別会等で、各社の職場に点在している同窓生の親睦を深めながら交流会を行っており、会社は違っても東長原地区で働く仲間の交流をもつことの意義を感じております。

最近では、昨今の厳しい情勢から定期採用が行われていないため、新たな仲間が増えることがなく、定年退職等で退会される方がおり、会員数は減少傾向にあります。近い将来、会津工業高等学校の優秀な卒業生を迎えられることを期待しながら、各社の会員とも昼夜仕事に励んでおります。今後とも更なる母校の発展を祈念致します。



研修Ⅰ 陶芸教室

研修Ⅱ
会津と越後をかたる会



セラ友会 総会



母校の機械科研修部へ激礼金贈呈

三菱伸銅鶴友会

会長 尾崎一憲 (昭41M卒)

一、役員
会長 尾崎一憲(昭41M卒)
金橋宇西袋2359
幹事長 神田修幸(昭41G卒)
会 計 渡部武志(昭56M卒)
二、活動予定

一意専心

威風堂々

東京電力(株)猪苗代電力所会工会 活動の近況報告

会長 白岩哲夫 (昭44E卒)

始めに、去る平成13年に発生の原子力発電所に関する不適切事例につきましては地域の方々、同窓会の皆様方に変なご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この事例の再発防止に向け全社一丸となつて、諸活動を展開し「安全・安心」と、信頼回復に向かってがんばつておりますので、同窓会会員皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

東京電力(株)猪苗代電力所会工会は、20代から50代までの総員50名で、年々減少化の傾向にあります。出身科は電気科、機械科、建築科、電子科で、主な業務は、水力発電設備、変電設備、送電設備、電子通信設備の運転・保守を担っております。勤務地は会津若松市、猪苗代町、浜通りの富岡町、いわき市、田村市です。

会の行事は新年会(2月頃)と総会(6月頃)の二つであります。平成17年の新年会は3月5日(土)磐梯熱海温泉「四季彩・一力」にて参加者30名で実施しました。学校時代の話題を中心に老若入り乱れ懇談し、校歌、応援歌ABC調、がんばれ応援歌を全員で歌つて宴

の「おしまい」としています。

総会は毎年、「萬花楼」で開催し、活動経過報告・会計報告・役員選出等の審議後、懇親会に移ります。宴の終わりに「は、新年会と同様に「がんばれ応援歌」等を学校時代に帰った気分であい、散会しています。けつして宴会がメインではありません。会員相互のコミュニケーションは、「安全・安心」と信頼回復に向けての仕事に繋がっているものと確信しております。

柔道部OB会

会工柔道部OB会の部動状況

事務局 舟木政市 (昭48A卒)

会工柔道部OB会は従来「柔友会」という名称で活動してまいりましたが、種々の理由により現在はその活動を休止しております。

現在、実際の柔道部OBの活動は、昭和40年代初めから50年平「柔悟会」という組織で行つております。毎月第二週の金曜日に定例会を会津若松市で実施し、多くの同級生が集まつてきて、母校会工

を中心に意義多い集いとなっております。

「柔悟会」は会工柔道部の顧問であられた飯田悟先生に柔道の指導を受けたOBにより構成された組織であり、会工柔道部OBが中心になり、他校にも呼びかけ、会津地区の五校の柔道部OB会が参加しています。一昨年は全国に散らばつてゐる会工柔道部OBが一堂に芦ノ牧温泉に参集し会工校歌、応援歌を熱唱しました。また昨年は飯田悟先生の退職祝賀会を市内のホテルで挙行し、会工柔道部他四校のOBも加わり盛大な祝賀会となりました。

現在のこの活発な活動は、会工柔道部OB会「柔友会」の伝統の土台があるからこそできることを、我々は良く理解しております。在校生への活動支援など再度「柔友会」の活動の開始要請が様々な方面から来ていますし、「柔悟会」のメンバーからも、早い時期の再会を唱える声が増え、強くなつております。会工柔道部OB会「柔友会」の早期再開を目指しながら、そ



部旗贈呈式(8月13日) 会工柔道場

クラス会

昭和31年

電気科卒業

熊の子会の集い

小林憲一 (昭31E卒)

昭和31年三月卒業の我々第六期生は、卒業して間もなく同級生の集まりを結成し、「熊の子会」とした。その名の由来は、三年生のときの担任だった大沢信義先生(元福島高専教授)に因んで命名されたものである。

思えば卒業以来、数回位は東京を中心にしてこの熊の子会の集まりが持たれた様に記憶している。しかし、還暦や定年を迎えた頃より本格的に集まるような気運が生れた。一昨年の沖縄に続いて四月、京都で開催された「熊の子会」の様子を皆様にお知らせして、我々の同級会のPRをしておきたいと思う。



神村君(大阪府在住)と松本君(奈良県在住)が今回の幹事であった。参加人数は21名だったが、卒業生50名の中、物故者を除く46名を思えば随分集まったと思う。日程は3泊4日であった。(第1日目) 4月11日 京都駅構内ホテルグランピア京都16時集合 京都駅近くで宴会 (第2日目) 4月12日 奈良観光 法隆寺、薬師寺、唐招提寺、春日大社、猿沢の池、奈良公園、興福寺等 京都市内で宴会 (第3日目) 4月13日 京都観光 京都御所、金閣寺、銀閣寺、清水寺、都踊り見学等 小料理屋で宴会 (第4日目) 4月14日 朝食後解散

REPORT & MESSAGE

昭和31年

窯業科卒業



平成17年9月4日、東山グランドホテルにて卒業50周年を記念して窯業科同級会を開催。先生外同級生19名が参加。

本場アンコウ尽しの料理で今は酒より食の年代になった。45年ぶりに2名の参加、会場が近くなると出ざるを得ない気持ちになる。持ち回りの良さである。今年は横浜が会場と決まり、中華料理を今から楽しみにしている。



昭和31年 窯業科卒業 先生外同級生19名が参加。

昭和39年

工芸科卒業

工芸科卒業還暦祝

開催日 平成17年5月28日(土) 29日(日) 1泊 開催地 会津東山温泉 東山グランドホテル 幹事 小林光男(旧村山)・安部新太郎(旧小柴)・小林義富・目黒敏治・野田豊



クラス会の翌日、機械科実習室見学

昭和41年

窯業科卒業

長谷川利彦 (昭41K卒)



7月16日(土) ホテルいづみにて開催。(出席者9名) 今回のクラス会はセラ友会総会時に合わせて実施しました。2日目には恩師の募参り、史跡めぐりと和気合々のもと親交を深め、来年も実施することを決めた。

昭和26年

工業化学科卒業



クラス会の翌日、校長室にて(長谷川雅之)

希望コース毎に出発までグループ行動
なお、宿泊場所は3泊すべてJR京都駅構内の「ホテルグランビア京都」であった。
3泊4日の長時間、食事も一緒宿泊場所と同じというのは文字通り修学旅行の再現であった。参加者21名のなかには、卒業以来の再会だったというのも何組あった。修学旅行時の話題や高校時代の思い出等常に話の種は尽きなかった。就寝前には、各部屋を訪問したりして深夜まで交歓は続いた。人は簡単には変わらないというが、頭は薄くなつても、贅肉がついても皆高校時代と変わっていない。五十年前にタイムスリップしたと思つたが、良く考えてみるとこの21個の人生は順調で楽しいものだったとは限らないだろう。辛く、あるいは長く苦しいものだったかもしれない。
昨今の電気科の在校生や卒業生は知らないが、我々が生徒だったころは、標章の「E」の文字に大いなる誇りをもっていた。今回の企画、運営を見ていると幹事の方々の準備や気配り、そして参加者の協力的な行動や言動等、実に無駄なくスムーズに進行した。
私はこのグループは随分レベルの高い集団だと思つた。そして昔のプライドが戻ってきたのを感じた。
今年の熊の子会には会津若松でやることになっている。懐かしの母校訪問を中心に企画しているが、より内容のある「熊の子会」にしたいと思つている。

昭和33年

佐藤 保 (昭33C卒)

化学工学科卒業

燦燦会(第八回)

会の由来は、私ども(3C)の卒業日が昭和33年3月3日と3の数字に縁があることからである。幹事は持ち回りで、昨年11月は日立組であった。当日ゴルフ場で持ち合わせプレート終了後、懇親会。宿は平潟港で、

一生懸命

母校だより

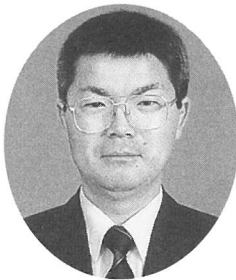
会工 新世紀スタート



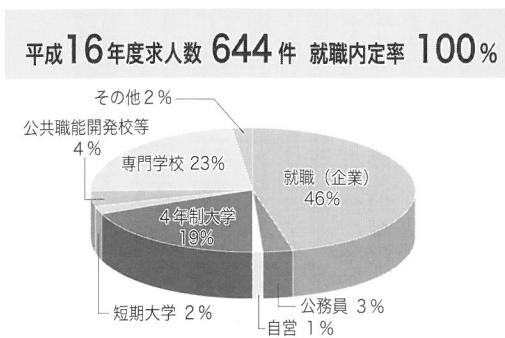
教頭 渡辺清見

会津工業高等学校は、学校創立百数年の県下一の「歴史」と「伝統」を誇る「工業専門高校」である。私の前任校は、あと数年で創立百周年を迎える東北地区の山間部にある高校でした。この高校の前進は、地域の伝統産業である養蚕織物を支える、有為な人材育成を目的として発足した、工業高校を母体とする普通科と工業科の併置校でした。20数年前の生徒数は、千人近くの大規模校でしたが、現在は少子化現象の波をもろにかぶり、一学年が普通科4学級と工業科が機械1学級からなっている。学校の「伝統」は、その学校が設置されている地域の特性と共に、積み重ねられた時間が、大きな要素となる。一世紀という時間の流れの中で、関係者一人ひとりの生き様ばかりでなく、その時代の歴史的な事件にも左右されてきた。設置学科や募集定員の変遷など、さらには在校生の気質や保護者・地域社会の学校へ期待するものも変化してくる。必ずしも不変的なものが「伝統」ではなく、伝統の根底に流れている普遍なるものが必ずあるはずです。先輩方が血と

進路指導部から 「インターンシップ への御協力」 進路指導部主事 山野 敏



平成17年3月卒業生の進路状況は、図の通りです。就職と進学との割合がほぼ50%。就職先も、地元企業の割合が多くなっています。以前の工業生の進路は、「県外企業への就職」ではなかったでしょう。しかし、年を経るごとに進学者が増え、地元企業希望者が増えて来ました。大学で専門知識を深め大手企業への就職につく事や、地元企業に貢献することは大変に有益なことです。先日、県外の大手企業から6年ぶりの求人依頼がありました。「定年で辞められる方や在職者の出身校を参考に、求人をお願いをしている。」この話を聞くと、どんなに厳しい世の中であっても、卒業された先輩方が築いていただいた道を、後輩たちが大事を振って歩むことが出来る。その事を、ひしひしと感じました。この素晴らしい流れを、後輩も受け継いで行つて貰いたいと思います。多様になった、生徒の進路を実現するために、進路指導部では従来とは違った取り組みをする必要



があります。国を挙げた「インターンシップ」事業もその一つです。生徒が事業所で、3日～5日間就労体験し、学ぶことや働くことの意義・やりがい・仕事の内容等を体験することを目的としています。生徒や事業所への報酬は、一切ありません。しかし、「インターンシップ」を体験した生徒は、職業意識や学校での勉強に対し積極性が見られました。今年も、11月15日～17日の3日間、2年生277名を対象に「インターンシップ」を実施します。生徒を受け入れてくれる事業所を現在募集しています。同窓生の皆様方の御協力を是非お願いします。個人的意見ですが、以前、本校委員会が東京に赴いて、卒業生と交流をもつ「激励会」が行われていました。現在は、行っていない。ふると会津との繋がりを学校サイドでも取り組めないか、と思つています。

生徒指導部から 生徒指導部主事 稲生義則



同窓会の皆様方には、日頃より本校の後輩教育のため物心両面にわたり、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。創立100周年記念として、同窓会館(鶴翔会館)をいただき、スポーツ力向上、学力向上、工業技術力向上等多面にわたり、利用させていただいているところです。最近では、多様化した子供たちが目立ち、ちゃんと話せない子供たち、自分の好きな事しかできない子供たち等、自己中心的なものがまなな子供たちが増えてまいりました。

我々教職員も歴史ある会津工業高校の伝統を汚すことのない愛校心のある、社会に貢献できる人間の育成をめざし、日夜努力しています。

今後とも同窓会の皆様方の多大なご指導ご鞭撻をいただき、立派な人間作りに進進したいと思つていきますので、宜しくご支援くださいますようお願い申し上げます。最後に、同窓会の皆様のご健康と益々のご発展をご祈念申し上げます。

資格取得

委員会から ジュニアマイスター

1 顕彰の推薦

資格取得委員会 大塚正幸	
ジュニアマイスター	ジュニアマイスター
ゴールド	シルバー
3M1	3M2
高橋 英人	相原 辰也
3M1	3M2
山内 信人	遠藤 慎士
	3M2
	齋藤 裕昭
	3A
	齋藤 誠也

鶴翔会館管理運営

委員会から

月別利用状況

平成16年												平成17年											
12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
149名	60名	105名	30名	155名	57名	102名	95名	48名				115名	144名	85名	160名	85名	31名						

鶴翔会館管理運営委員会

教頭	白井眞一、渡辺清見
事務長	渡部秀樹
同窓会長	梅津正夫
幹事長	若狭春生
事務局	梨子本傑、岩渕浩之
PTA会長	五十嵐雄一
庶務	渡部則幸(代)
事務局	根本平造
総務部長	山寺清司
生徒指導部長	稲生義則
建築インテリア科代表	二瓶賢一
生徒会顧問	加藤善範
部顧問代表	鈴木聖也、鈴木陽子
担任代表	内藤陸朗

3 学年から

「ますます

楽しい3年生

3 学年主任 内藤陸朗

会工2世紀と同時にスタートしたこの学年は、過去2年間報告してきましたように実に順調に歩んできました。学習成績、学校生活、校外活動、部活動、資格取得と、あらゆる分野で立派な実績を残してきました。2年の2学期に行われた修学旅行は、まさにこの学年を象徴する素晴らしい行事となりました。台風の間合を縫ったの奇跡的な好天の旅行、沖縄という素晴らしい土地と自然を満喫したこと、戦争について実感したこと、そして生徒たちのメリハリの利いた立派な行動と、すべてが見事にこみ合ったものとなりました。進

路決定に当って、「沖縄ファン」が何人もいる事が分かったのも修学旅行の影響でしょう。さて、いよいよ高校生活仕上げの年です。4月から6月にかけて、今年度の幕開けとして各種大会が開催されてきました。地区大会では各種目で圧倒的な強さを発揮し、多くの種目で県大会に駒を進めました。県大会でも、ボクシング、陸上などで優勝者が出て上位大会へつなげました。ほかに、惜敗したものサッカー、バレーボール、野球などは大健闘でした。各部において3年生が主力になっているのは勿論のことです。さてこれからはすべての生徒にかかわる「進路確定」の大仕事が始まっています。景気の動向も気になると思いますが、それに左右されることなく、「しっかりと生徒は採用される」「目的意識を持った生徒は合格する」という信念のもとに、準備を怠りなくおおいに挑

2 学年から

中堅学年として

2 学年主任 佐久間智広

新学科が誕生し、会津工業高校の新たな時代の幕開けと共に昨年度入学した学年も2学年へと進級しました。今年度は中堅学年として、昨年度よりもレベルアップした学校生活となるよう各種活動に取り組んでいます。

前年度の生活を振り返ってみますと、欠席、遅刻、早退の大幅な減少という点で際立った結果を残すことが出来ました。基本的な生活習慣は、殆どの生徒が確立しているものと思われまます。また、部活動においては、昨年度、1年生ながら全国大会に出場する経験をした生徒もあり、今後の活躍が益々期待される状況です。特に、スキー部の特筆される活躍の中には、現2年生の力が大きく作用していました。さらに、各種資格試験においても、1学年次で目標とする資格については多数の生徒が合格しており、現在ではより上位の資格取得を目指して取り組んでいる生徒も多数見受けられます。

今年度は、学校生活において、中心的役割が一層問われる年となります。その自覚を持ち、気を引

1 学年から

1 学年主任 白岩孝一

2005年度入学生は、前年度と同じく、建築インテリア科・セラミック科・化学工学科・電気科・情報技術科各40名、機械科80名、合計280名です。入試は人気が高く、新聞社が取材に来るほどの倍率でした。

そこで、学年通信第1号には、次のような挨拶文を載せました。「入学おめでとう。難関の高校入試を突破しての会津工業高校への入学、本当におめでとう。正副担任14名の教師をはじめ本校職員全員が、みなさんの入学を心待ちにしています。よろしくお願いします。」

人生80年と言われますが、その中の3年間はあっという間にすぎたしましう短い時間かも知れませんが、みなさんの人格形成に関わる最も大切な時期の一つとなることと思います。授業はもちろん、毎日の掃除、資格取得、部活動、体育祭や会工祭、強歩大会、そして修学旅行などに一生懸命取り組み自分を磨いて欲しいと思います。私も、このような想いをもって生徒諸君の大切な3年間に立ち会い、その成長の支援をしていきたいと考えております。つきましては、同窓会には何かとご支援を賜ることが出てくるものと思ひます。その節はよろしくご指導ご援助のほどお願い申し上げます。



パン・会津同窓会交流誌「結晶」の朝野を驚かす。訪ねるのは、曾根が曰く本人のリネン・ガルドン君（（五）、同校の日本語教師、安達孝子さんととも）正月二十八日に来日し、同三十日から九月一日まで同窓会関係者の目撃レポートムスデイしながら生徒たちの交流や更新などを体験した。会津訪問のきっかけは、松江の孫、佐伯主一郎さん（元六代代表取締役）の「松シヤキンゲ」基金の「松シヤキンゲ」の青年た。イザベラ

会津工高の中庭にある松江春次の像



ながら、学校の授業を休断し、市見学の体を行なう予定。同席・同窓会も交流の歓迎会を予定している。

松本は戦前、サイパン島製糖業を興し、地域振興に貢献したとして現在も「ニューカキング」とともに松本の銅像がある。

サイパンの高校生
今月末、会津工へ

開演した。考え、
それらの人は現地の男子生徒、
宗教員、人、松江の孫の佐伯正一、郎一、東江の鶴田の鶴二、員体化した。受け入れは同高同窓会が行った。

男子生徒は三十一日から九月日まで、同同窓会関係者宅にホームステイして現地で親まれてきた。市内の学校を体験。九月〇昭和三年の卒業式、市内中学なら授けられた。同高同窓会交流の機会を定めていた。

松江春彦は戦前、サイパン島に遊業を興え、地産品に貢献したことで現住している。サイパン同高にモシユウ「サイヤグ」とともに松江の銅像がある。

特集3
サイパンの



松江翁の祖の会津定住
ゆかりの地・
坂下會工会の「シ」
呼び掛けに

はじまる恩人再見論が、いま、地球市民時代の交流促進に向け大きく花開こうとしています。

倉津市松田町で、サビ
を中にといた南庄で「シュ
ラーキネ 砂瀬子」一丁
で知られた松は香次翁のト
キメント脱歐「ユガガ
ネ」初演（仮題）が制作
される。三日、松江の栞に
あたる東館の会社員佐伯
三郎（即ち「さくら」が所
に作家、郎市を招き、松江
を求めた）。

倉庫君松山出身で、サブリを中心として南座「ユウキキダ」秘題主「しじ」で知られた松江繁次郎下キヤミ下腰廻「カキギキダ」初廻（盗撮）が「動き」される。主日、松江氏の秘にある東武都の会社員佐伯さん（郎さん）が市出所に警察、郎市を左脇、助方めまめた。

「たれは佐伯さん」と長枝雅さん。佐伯さんは人、歳が九、歳、たれキミマツ、企画、さんら「意がけ」などの、記録「たれ」の、撮影「たれ」イイチ、クラブ、南座調を、たれ、たれ、に最後、場合、来は、

富家市長に映画の趣旨を説明する佐伯さん（左）

力した。また元馬、
松江、東武、沼田、
旧会津中の男に主
力した。会津中中業後
蔵前船工親吉等入
を統へた大規模入
社、アリのカニ、チ
子大躍進した。
第三次大戦後、サバ
は南洋諸島を委
託を立し、国共統
治を確立し、南洋統
治。東北、北滿、神
奈、事務に成し、南
洋開拓文を定めて

ドメナト決断は、
会津中と密かに南洋諸
島の元社員を南洋開
拓、会津中、南洋諸
島開拓する南洋諸島
開拓者の益、サバ
開拓者の益、サバ
政府、当時は南洋
のチャロの取地
機事は去年年末、行
い、再年春試験充
開く事を国の公物
南洋、劇場の公物

定めて

たり、豊富な資料として
「企画した」と感言を説明
した。

宮本市長は「素晴らしい
企画。貴重な資料にな
るはず。できる」とは協
力した。

会津市長を務め、徳島
県の板東学園収容所長で
ドイツ人捕虜を人道的に
教育に力をつけた。

工高に多額の寄付を行
い、ふるさと後の進歩の教
育に力をつけた。

特集2
砂糖王

会工に寄贈された米式せん盤

中庭で松江翁の胸像撮影

（財）白虎隊記念館理事長 早川 廣中

1. はじめに
私と松江氏と会工の關係については、松江氏が戦後會津工業高校に寄付した際、時期を同じくして「松江財団」を設立し、私の父がその理事長を務めたという経緯がある。

戊辰の役で敗れた松平容保が藩主であった頃、松江春次氏の父、松江久平は朱雀隊に属していた。久平が西南の役に参戦する1年前の明治9年に、若松市で父久平の二男として春次氏が誕生した。

てきたのが会工である。会工の歴史は、そのまま会津の、更には日本の産業の変遷を物語るもので、学科を改編することが存続、発展のもとである。

2 発端は1590年近江出身の蒲生氏郷が会津藩主となり、近江の技術者を多く引き連れてきた。特に漆や陶磁器の産業発展に寄与した。

次に保科正之が藩主となり、農業用水等のインフラ整備に尽力した。

明治29年、会津中学の第一期卒業生となり、その後1年間、湊の原小學校で教員をし、明治29年、東京工業大學に入學。応用化学を専攻した。

明治32年、大日本精糖に入社。その後、今日でも愛用されている角砂糖を発明したので、松江氏なのである。また

父は会津工業の出身である。今は、一部上場の素晴らしい企業に成長した。

諸君の中からも、一部上場企業を興せる人材が出るかもしれない。先輩に続く活躍を期待する。

早川廣中氏のプロフィール

1877年、家老であった田中玄幸は、会津の産業改革を実施した人物である。蒲生氏郷の施業を継承し、漆器・陶磁器、酒造業を発展させた。このことにより、会津の地場産業が現在まで引き継がれている。

3. 松江春次氏の生い立ちと
会工との関係

時期を同じくして米のルイジアナ大学へ留学している。

昭和5年、南洋興発の社長となり、サイパン島で砂糖や魚の加工業で大成功を収めた。

昭和15年、会工機械科設立時に、当時のお金で33万円を寄付した。

昭和29年死去。生前によく会工の機械科設立が、会津に

東京生まれだが、小学生の時に疎開で父祖の地、会津に。高校まで過ごした。早稲田大学大学院卒。経済学者として中央大で「日本貿易論」を講じているところを1987年会津若松市長に担がれ、再び帰った。バブル期、企業からのゴルフ場、スキー場の開発話を断り、故郷を守った。

残した最大の宝であったと述懐していた。

兄の豊次氏についても話が あった。51歳で若松市長に任ぜられ、一箕町浄水場や飯盛山の階段工事を行った。

4・最後に

会津産業の発展のキーマンは、電力と輸出である。

時代に挑戦し、発展を続け

化の研究に取り組み、現在、財団法人白虎隊記念館理事長、修学旅行などで訪れる子どもたちに、平和の尊さを語る。「白虎隊でも、今度のイラク戦争でも多くの子どもたちが犠牲になった。しかし、満たされた今の少年たちに理解してもらおうのはなかなか難しい」

会工生よ 服装を正して欲しい

(昭18 M卒) 星 榮祐

長い間の経験から「その人の心が服装に表れる」「物は心で作るものだ」というのが私の持論である。

私は物作り屋なので多くの同業者の所を尋ねて、乱れた服装の職人の作った物の品質は良くないのを実感しての持論である。
作業着のボタンを外したり、セッタを履いたりの乱れた姿では良い物は作れない。
昨今のタレントと称する者達が興味を引く為にふしだらな格好をして居るが、あれは特異な者達の為せる技で、それを真似する事はして欲しい人間ではない。

人間は長い歴史の中で、道徳としての礼儀作法なるルールを作ってお互いの信頼関係を築き、明るく住みよい社会を作ってきたのである、乱れた服装は礼儀に反する。

私が在学中は時々服装検査があり、当たり前な事であるがキチツとした服装で心も正し、学業に励む事を習慣づけられたが、それで今の私が作られたかと思ってしまう。

昨今の高校生の服装は、服のホックを外し、シャツのボタンを外し、シャツをスポンの外に出して、しかもズボンをずり下げて穿いて正に乱れた服装であり、そこからふしだらな精神が生まれ、それが反社会的行為に繋がって、正に住みにくい世を作り出して居るのだ。

学校でも正しい服装の指導をして居ないが、それは戦後の日教組教育で培われて来た事で、何故出来ないのか嘆かわしい限りだ。

先日他所に行き、キチツとした服装の男子高校生を見、昔作らのスカートを穿いた女子高生を見て清しい気持ちになり、これが本来の学生の姿なんだと実感した。

そこで、会工生には服装を正して一生懸命学

業に励み、他校の手下になって欲しい。
服装はその人の心の鏡である。
付け加えるが、私が在学中は常に、会津魂・白虎魂を強調されたものだが、今の様な姿には会津魂も白虎魂も宿らない。
今の僕では日本はやがて駄目になると断言したい。道徳的退廃が国を滅ぼした歴史を省みる必要を痛感する。

サイパンの思い出

(昭20 K卒) 水野 銀蔵

昭和初期の経済恐慌時代に私は生を享けたが、世は正に農家の子女を売りに出す様な極度の貧困に見舞われていた様だ。

当時、若松出身の松江春次氏がサイパンに南洋興発会社を起こし、製糖会社として万支の金を吐いていた。

人事部長には叔父(叔母の旦那)の長尾長男氏が就いていた。そんな関係で特に会津から数多の人間が殺到、渡航した。職を求めて海外雄飛とは格好いいが、いわゆる一旗組という奴が、



当時は町内でも有数の規模を誇っていた吾が家の製陶会社も不況人事部長に請われて一家を

挙げて手伝いに行くことにした。
時に私は3才、間もなく現地で弟が生まれ、2、3年後には腕白盛りのいたづら小僧達。会社の構内に入る牛歩の様な貨車に原料の砂糖黍を満載、はみ出ている黍を引きちぎって、それこそ甘い汁を堪能して遊び興じていた。

後年、母校会津工業学校に大金30万円(現在数億円)などを寄贈された松江社長が優れた人格者だったので、ふるさとから来た人達も動機に働き相当の実績を挙げた。

会社の基盤が出来たので、私の入学年金に伴って引き揚げるようになった。皆に惜しまれながら帰国したが、弟も三才になっていた。サイパンから帰る時に解に求めて本船に移る際、一枚の渡しの恐怖感が幼な心に焼き付いて、三つ子の魂百までも、未だこの年になっても脳裏から離れない。

私のサイパンに関する投稿を見て、あちこちから写真や手紙などが送られてきたが、今は故人となられた月館の伊藤宮司さんはサイパン庁からサイパン神社の宮司になっておられたが、時々現地を訪れては感慨に耽けてくるとのこと。

「記事を見た」と私達が住んでいた社宅跡の写真など会社で現況やパンサイクリフ(自決の岬)の写真など沢山送って頂いたが、何度かの引越しのどきどきで今いづこ?

話を巻き戻して戦雲怪しくなつて満州事変、日支事変から第二次世界大戦となり、勿論、南洋興発も戦勝に酔い盛の一端を辿っていた。大戦後の父も晩年まで述懐、「吾が家は早々と帰国して良かった。好景気を味わった人々は帰る時期を失い、サイパン玉砕までの人々も大分居た様だ」と当時一緒にいた同僚たちを偲んで、瞑想に耽っていた。

私自身の体験

(昭25 C卒) 歌川 晴雄

会工百年史ありがとうございます。
百年史を読んで私自身の体験を記憶を辿り書いてみました。

昭和19年工業化学科に入学しましたが、50名募集のところ250名の応募があり75名合格と

百周年募金の裏はなし

若松東山支部長 伊藤 博

私及び兄が機械科を卒業し、私の長男が建築科を、次男が工芸科を卒業。又、兄の息子が工芸科を卒業させてもらって、会工同窓生一家と言っても過言ではありません。

こんな深い係わりから、母校百周年の記念行事に何かご奉仕しなければと思いもあり、幸いにも事業資金部会のメンバーで、募金を積極的に行うと決心しました。

仕事の関係上、旧市内の事業所に知り合いが多いことから、企業を重点的に募金することにしました。

在職中であつた鈴木長九郎先生と若松会工会坂内副会長にご同行を得て、毎週木曜午後1時ころより、巡回訪問を約3ヶ月弱、実施しました。

先ず訪問して第一番に感じた事は、何れの企業も不況の影響が深刻で、笑顔一つ見れなかつたことです。

私とは、それなりのお取引や親しい人間関係でありながらも、いざ寄附となると表情にも厳しさがうかがわれ、気まずい雰囲気もしばしばでした。ある企業などは、その担当部長によくやくOKの了承を頂戴し、後日指定の口座に振込むとの約束でしたが、その後幾ら待っても入金してもらえず、止むを得ず2回程催促してもとうとう頂くことは出来ませんでした。

大変無念とは思いましたが、後日聞くところによりますと会社の公金を着服し、解雇されたと聞きました。

当初、私としては、寄附総額を数百万円を集めようとしておりましたが、残念にもその何分の一にも満たず、記念事業を百%達成出来なかつたことを、責任の一端と考えております。

振り返ってみると、盛夏にかけての季節で、時に強烈な日差しの中での会社訪問は、鈴

木先生、坂内副会長に大変ご苦勞をおかけしたと今更ながら感謝しております。
何回となく訪問しても何らの回答も得られず引き下がってくる空虚感は、過去を通じ数少ない経験でありました。

水野さん

(昭26 E卒) 佐瀬 一信



東海会工会会長 水野正雄さんは会工高の二期生(25 K)で卒業後当時の通産省に入省。仏政府の留学生として2年間仏で勉強する。帰国後、工業技術院名古屋工業技術試験所勤務となり、名大に3年間聴講生として学び、アルミナの研究で1984年東工大より「工学博士号」を授与される。会工出身で数少ない博士号取得の一人である。東海会工会会員は、彼の案内で平日10余名参加して名工試を見学し、アルミナの最先端技術開発に感銘したこともあった。彼は定年退官後、愛知県立瀬戸窯業高校専攻科の講師に迎えられる一方、母校とも交流が深く、会津得子の顧問も兼務していた。晩年は原因不明の難病に悩まされ、入退院を繰り返していた。入院先や病名は一切公表されないまま、平成16年9月27日、本人から久方ぶりに電話があった。医師から「良薬がなく自宅療養するように」と言われ、医師から見放されて退院したと言った。10月7日、夫人より訃報が入る。訃報をもとに同窓会をはじめ関係各所に伝達すると、各位は皆突然のことですっかりしていった。

葬儀は名古屋市内の斎場で、会工同窓会の本



部をはじめ各地区や他からの生花が供えられ、同窓生他多数の参列者でしめやかに行われた。外は無情の大雨が降っていた。同窓生は、ささやかな直会を催し故人を偲んで冥福を祈った。

水野さんの先祖は保科正之公が会津23万石で入部し、殖産興業の一環として、尾州の瀬戸から陶器職人を招き、瀬戸物産業発展に尽力した。毎年9月16日、常勝寺境内で「陶祖 水野源左衛門」「磁祖 佐藤伊兵衛」の霊を供養する陶磁器祭が盛大に開催される。水野さんは「陶祖」の一派とされ、彼は先祖の尾州、瀬戸でセラミック講師として奉職中、志半ばにして先祖の地で還った。(尾州では水野の姓が多い)享年74歳白病であった。 合掌

水野正雄さんとの出会い 先背を偲んで

(昭27 K卒) 渡辺 正夫

私が昭和20年に会津工業学校窯業科に入学した時、本郷町からの通学の中に、一級先輩に水野正雄さんがおられました。水野家は会津本郷焼の先祖に水野源左衛門と云う人がおりますが、その流れを汲む一族かも知れません。当時の通学はまだ戦時下であり、戦闘帽にゲートル姿での登校でした。何人かの先輩はとても厳しく、慣れない新入生をよく叱っていたものですが、水野さんは優しく、よく私達を面倒を見てくれました。この記憶も今は60年前のこととなりました。

その20年の8月に終戦となり、学校生活もだんだん緩和されるようになりました。

なり、教室がなく1クラスとして製図室を2年生になるまで使用しました。1年生の時、若商から転任された「漢文」の佐久間先生、若商の卒業生で軍隊にいる長兄に知らせたら、やはり「漢文と剣道」を教わったと返事があつた。古武士の風格のある先生でした。

4年生から、新制の高校1年生になり、新しい学科「社会」の担任は天川先生でした。小学校の校長から(の転身)検定で資格を取得されたのかは不明だが、父に話したら先生の兄様に教わった事があつたと話していました。

校庭の農園化にも駆り出され、連日、ツルハシやスコップで土堀りし、隣の軍隊の練兵場の馬小屋からは馬糞を肥料にするためにモッコや担架で運び、素手で田圃に撒き、初めて田植えを体験しました。校庭の3/4くらいは畑や田圃になったと思います。21年、3年生の時に野球のクラス対抗試合があり、校舎寄りの残された狭い場所のグラウンドでのプレーとなりました。選手として出場したが、正面から西日が当り眩しくフライを落してしまい、大失敗。

背炙山へは防空壕の材料の松の木を運びに、連日行きましたし、2度登った日もあったと思います。子供が小学生になり、実家や次兄の家族たちとスキーにでかけたものです。当時ケールカーがあり、楽に頂上に行けた。去年、東山に泊まりタクシで背炙山の頂上まで行き絶景を老婆に見せ、道中、運転手と妻に戦時中の松の木運びの事を話しながら下りてきました。2年生の時、農家への手伝いは田圃の草取りで、連日、雨の中一週間位、自転車通いました。出征兵士の留守家族で、男子は祖父さん一人で母の実家(農家)と家族構成が同じでした。母の実家の孫も今年、中学の校長を定年退職したので、あの家も同じ位の年だろうかと考えております。

吉田製版所へは、社長の息子さん漆工科の吉田君と共に、6人位で炎天下、太い木を二人で鋸で挽き、切り終われば4人がかりで担いで工場へ運び入れたのです。郡山が空襲の日でした。若松にも艦載機のグラマンが飛来し空襲警報が発令されたので、帰宅してもよいと言われた途中、避難するどころか、珍しい飛行機が見えたので、空を見上げている人が多かった。

水野さんは大変背丈が高く、ロングフェローのニックネームで通っており、工業学校時代にはバスケットの選手で、大会でも大いに活躍されておりました。
水野さんの卒業後は東京の工業技術試験所に入所され、太陽熱の研究をされておりました。私の卒業後は県の陶業試験場(現在は工業試験場から福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター)に入所し、陶磁器の研究に勤めました。東京の工業技術試験所が名古屋に移り工業技術院として、水野さんには名古屋での研究が始まったのでした。その頃私も試験場から研修のために、名古屋、多治見などによく出かけました。名古屋の試験場に寄りますと、水野さんが迎えてくれます。色々学習等が終わりますと、夕刻、夜の酒場に。その帰りに、私のアパートだが泊って行きなさいと、心温まる一夜を共に、お世話になったこともありました。

其の後、水野さんは外国に留学され、研究成果も得られ、帰国後は博士号をいただくとう、私ごとのように喜びを感じたのでした。永い間の研究、実績を私達の地元まで、福島県窯業技術協会、会津の陶磁器界、母校など、二ユーセラミックスを主に、ご指導をいただいたのも、つい最近のように思えます。

水野正雄さんのご功績を称えながら、心よりお悔みと、ご冥福をお祈りいたします。



1949年11月23日 会工祭夜間撮影。前列左から2番目、水野正雄氏。後列右から4番目、渡辺正夫氏。

contribution

叙勲を受けて

(昭27C卒) 鈴木信雄

前会津若松調停協会会長



11月3日の各紙に、秋の叙勲受章者が掲載されました。特に、県内紙の福島民報・福島民友新聞には、受章者の一言が載せられ、私はその結びの言葉として、『公正を愛する心』と書かせて頂きました。この言葉は、会津若松出身で、終戦後の新しい憲法の下新設された最高裁の初代長官、三淵忠彦氏のものであります。私は常日頃、三淵さんの言葉を信念として調停活動に取り組んで来まして、引用させて頂きました。

皆さんご存知の様に、三淵忠彦氏の父親は、会津藩最後の家老・萱野権兵衛氏の実弟で、家名は断絶され、三淵を名乗りました。忠彦氏は、東京帝国大学法科に入学しましたが、勉強途中で両親と弟を相次いで失い、失意のため学業を中断します。再び京都帝国大学法科に入学、苦学の末25歳で卒業しました。卒業後、忠彦氏は、地方裁判所の判事を務め、大審院判事となり民事裁判官として名声をせました。

浅学非才の私は、新しい調停事件(民事・家事)を担当する度に、同じ日本人でありながら、私の人生経験の中で得た『多機能計測機』で計る事が出来ない物(もの、事(こと))に度々接し、自己啓発の大切さを痛感致しました。私は、『明日のため』に、常日頃から上記計測機の改良、開発を行うべく、その道の専門家の方々にご指導頂き、何とか32年間責任を果たす事が出来ました。

終わりに、開かれた裁判所を正しく街の人々に理解して頂くことが、裁判所の活用につながる、また、地域社会の皆さんの良き相談相手として、幸せの灯を一人でも多くの方々に点灯する事が出来た。

る事が、人生の生き甲斐になるものと思えます。皆さんも頑張ってください。

会津大戸窯

(昭27K卒) 室井正男

会津大戸窯とは、大戸古窯跡群の総称である。昭和56年(1981年)会津若松市大戸地区で始まった県農業開発公社による、大規模果樹園地造成にともない、多数の窯跡の存在が判明した。その後、市教委による分布調査及び発掘調査により、窯跡群の規模が、東日本最大の古窯跡群である事が明らかになった。その規模は、須恵器窯跡184基、中世陶器窯跡36基、合計220基が、標高300m、350mの丘陵地に、東西2km、南北3kmの範囲に点在している。そして、7世紀から15世紀にわたって、約600年もの長い間、焼き物作りの大集落地であったと云うことです。

縄文・弥生の時代を経て、五世紀の中頃、須恵器の技法(口口成形と、1,000度以上の高温で焼締める技法)が、朝鮮半島からもたらされて、日本の陶芸史上にも、革命的な変化の時代となった。五世紀中頃、大阪府南部の陶器(スエムラ)一帯が、日本での始まりだと云われております。6世紀から7世紀になると、全国的に地方窯が出来ようになり、須恵器の生産が東北地方にも拡散して行ったものと思われまます。大戸窯も、その経路は不明であるが、前記の様子時代背景の中で、工人集団の移動によって、大戸地区にその適地を見出し、長期間の焼き物産地が形成されたものであると考えられる。

このような貴重な文化遺産が、今日の世に現われた上は、古代のロマンを再現し、後世に伝える重要性を痛感したのは、私だけだったでしょうか？

趣味で始めた陶芸が、幻の大戸焼の再現へと進むことになったのです。



昭和60年(1984年)頃、大戸古窯跡群の話を聞き、600年も続いた焼き物産地であれば、良質の粘土がまだ残っているはずだと見て、粘土の採取と、試行錯誤を繰り返す中で、粘土の特性(成形性・耐火度・焼締り具合等)と採石量などを考慮して、適合する粘土を何ヶ所か見つけることが出来た。

そこで昭和63年(1988年)会津若松市大戸町の現在地に、工房(会津大戸焼窯元・正泥窯)を開き、大戸焼の再現に努めた。

平成元年11月(1983年)幻の大戸焼の復活を発表したのである。

その後、須恵器・中世陶器の再現と、大戸の土を最大限生かした作品作りを続けております。又、焼き物の原点である、自然釉の魅力を再現すべく、多くの協力者と、9ヶ月の工期を経て、穴窯あながまの築窯も完成し、平成8年10月(1996年)に火入れ式を行う事が出来たのであります。

焼き物は、火の芸術と云われております。振り返って、窯業を学び、生涯の仕事(趣味も含めて)に生かされ、大戸焼の再現も出来ました。

温故知新、陶芸の魅力は、原点に立ち返ってみて、わかることではないでしょうか。

クラス会の歩みから 見えて来たもの

(昭28E卒) 西川清次

私は戦後、就職難の時代に株明電舎に入社、主に設計・製造、変電技術、特許、国際企画業務等に従事し30余り海外出張の経験も致しました。また、入社と同時に明治大学で学び、在京8年の後、静岡の沼津に転勤、移住しましたが、その間東京へ単身赴任6年、更に4年間新幹線通勤もしました。このような事情から同級生とは疎遠勝ちでした。

そこで、クラス会の歩みを辿ってみると昭和49年に初のクラス会を塩原温泉で開催、14名が参加、和吉会と命名された。2、4回目は新甲子、鬼怒川、及びいわき湯本温泉で開催。そして、平成7年の電気科創立50周年記念式典に合わせ第5回和吉会を東山温泉で開催、20名が参加、素晴らしい式典、楽しいクラス集まりとなりました。更に6、8回は猪苗代はやま温泉、湯本リゾート及び日上市みなと町でと、連続開催。続けて平成14年、母校創立百周年式典に合わせ第9回和吉会を芦ノ牧温泉で行い14名が参加、楽しさいっぱいでした。風雅堂には、1,500余名が集い式典は肅々と盛大に執行され、生徒代表の誇りと希望に満ちた力強い言葉に感動。昨春秋には会工祭を参観、電友会総会にも出席し親しく交流。会工祭は時代の変化を捉えて人気が高く盛況でした。

そして今年早春、第10回和吉会を静岡の伊豆長岡温泉で行い18名が参加。夜遅くまで再び青春に燃え、翌日は神々しい富士、修善寺の梅林等をゆっくりと楽しみ満喫しました。今回は半世紀を迎え、元気で再会でき最高の喜びでした。現在クラス会と連動して、電友会の会員も増えて28名となりました。

このように同級生との交流は心の支え、癒しとなっています。お蔭で私も元気で何より嬉しく思っております。

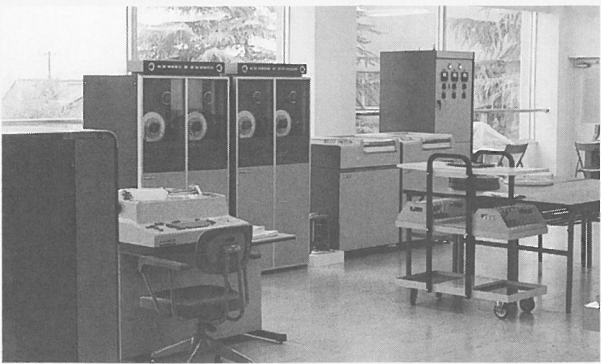
技術革新はまっくれない

(昭30E卒) 武藤 栄

文章の書き出しや挨拶の枕言葉に「我が国の技術革新はめざましく…」のフレーズが頻りに引用されて久しい。とりわけ、コンピュータ技術の進歩はめざましい。

昭和40年代の中期、ソフトウェア要員の育成が急務となった。私が労働省関係特殊法人雇用促進事業団(現・雇用・能力開発機構)の職業訓練施設の指導員として勤務していた当時、我が国の一般企業や事業所でもようやくコンピュータが導入されるようになり、システムエンジニアやソフトウェア要員の養成が急務となった。そこで、労働省も国が行う職業訓練の訓練科目として初めて大阪と神奈川の訓練施設にプログラム養成のために、「電子計算機科」を設置し訓練を行うこととし、指導を担当することとなった。

入校資格は高卒以上で、入校者の中には大卒も社会人で職業の転換のために入校する者もあった。当時導入したハードウェアシステムは、当時としては先端の中型汎用機富士通のFAKOM360であった。ようやくICからLSIが組み込まれた大変コンパクトなシステムであったが、今思えばCPU、磁器テープ装置、磁器ドラム装置、カード読取装置、カード穿孔機、プリンタ装置などそれぞれ独立して構成され、これらを設置するスペースも学校の普通教室の



広さ程が必要であった。さて、その後のコンピュータの技術革新はめざましく、その当時の機器構成がもつ能力に比べて、現在のパソコンははるかにその能力を超え、小型化、薄型化、多様化、多機能化した。そして、特別な訓練を受けなくても誰でも簡単に使用できるようになり、一般家庭や小学校の教育現場にまで導入されるようになったことは、大変結構なことではある。しかし、いっぽうでは、あまりにも急速に革新が進められることによって、中高年層者にはユータ化されることにより、業務処理がコンピュータで行けず、パソコンを敬遠する傾向があらわれ、結果として時代の流れに乗り遅れた中高年層者が続出することとなった。そのことがたとえ、定年退職後、地域社会の中での活動をするにあたって、パソコンやワープロで案内文書や指示文書が作れないからその役はうけられないなど、しり込みしてせきなく経験によって得た多くの能力を発揮できなくなっていることは誠に残念である。でも、最近では、地域で行われるパソコン研修会に中高年層者の受講者が多く見受けられるようになったと聞き、明るい希望をもてる。最後に、技術革新は待つてくれない。情報化社会が益々進展するなかで、しかも短いサイクルで新しい技術による情報機器が次々開発されて、我々の身の回りを取り囲んでいます。在校生や若い諸君には現状に満足することなく、OBの皆様方におかれましても科学の進歩に乗り遅れることなく常に前向きに、新しい情報の収集ならびに技術の修得を心がけていただき、情報化社会を有意義に過ごしたいものだと思っているところです。

俳句に生きがい 山口瑞穂会長を語る

(昭31E卒) 佐野常雄

湯川会工会事務局長 同窓会副会長山口瑞穂(昭13T卒)さんは、湯川会工会の会長で、農業に従事し乍ら俳句に生きがいを求め、87歳で健康に留意され、選者を勤めておられます。

俳句は、昭和13年(19歳)から、選者横山白紅先生から勧められた一句「磐梯に雪ある春を おしめけり」。昭和22年妻子夫人と結婚後一男二女、父母と使用人一人の八人暮らし田畑420アールを耕作し乍ら「万緑」に入会し主筆中村草田男先生の指導を受け、自宅には先生直筆の短冊「降る雪や明治は遠くなりけり」(昭和45年会津俳句大会)があり、以降、会長の作品を紹介いたします。

朝日新聞に投句し掲載の句「田を耕す今も身につく兵の服」。昭和40年伊勢神宮永久掲額句「田よりでる農夫がかかしより貧し」。昭和41年靖国神社の神前に奉納された句「春めくも星より暗き拓地の灯」。昭和41年大津市の義中寺に奉納されている句「母と娘の小さき喜しすむし飼ふ」。昭和45年会員15名による俳句誌「ぼつみ」を刊行する。それが認められ昭和62年国立国会図書館(献本)永久保存の確約を得ております。昭和61年角川書店発行の俳句歳時記に掲載の句「検診の農夫胸より初こぼす」などであります。

現在は会津若松市地区公民館の俳句教室の講師や全国俳句大会の選者をされておられ、忙しい毎日でございます。

桜の木に寄せて

(昭32A卒) 金子昌輝

会報発行おめでとございます。東京会工会副会長 風雅堂に於ける母校百周年記念の公演は、今も鮮明に、大きな感動と共に蘇ってくる。スクールの大きな劇場を埋め尽した参加者は開演



を、今や遅しと待っていた。静かにである。しんとした会場に司会の第一声の案内が入った。と思うときいきなり白袴鉢巻姿の応援団が登場した。凛々しく格好が良かったし、つい魅入られてしまったのである。幕が開くと、ひな壇の配列とまぶしいばかりの照明に浮き出された舞台には、また圧倒されてしまった。

来賓主賓の祝辞や挨拶も、しっかりと聞いて、明瞭なもので、印象に残るものであった。さすがに会津工業百年の重みを観る想いであつた。斯様な演出で、記念式典を進められてきた諸兄には改めて、深甚な敬意を表すものであります。

初て我が東京会工会も、母校の後を追うように、百周年を迎えようとしております。当会でも何か記念になる事をしたいと、いろいろ考えた結果、母校に桜の木を植えてはどうか、という事になりました。早速母校とも相談したところ、大変喜ばれ、記念事業は桜の植樹で、数は百本と決まったわけであります。

植樹祭は、小雪舞い散る風情のなか、3月26日に、古式豊かな八角神社の宮司に依り、昼12時から関係者集いて、厳肅のうちに滞りなく終了し、百周年記念のシンボルである鶴翔会

contribution

contribution

館に於いて、簡単な会食となりました。

その時は勿論、桜の話が中心です。私は建築科でしたが、正門の右側に古くうす暗い木造の校舎が教室でありました。しかし、その窓を覗き込むように枝を張り、花を咲かせる桜の大木が、今も目に焼きついていて、と言いだしたところ、そういえば昔入学式は必ず、桜の木をバックに記念写真を撮ったものだ、と昔日の学校や生活を偲び、しつとりとした集いとなったが、皆さんも桜の話はいろいろ、想いがあると思いますが、如何でしょう。

そこで桜の話を一つ紹介させて頂きます。ご存知の方もありますが、財団法人・会津学生寮が文京区千石に在ります。

静かな住宅地ですが、道が狭く住宅も、混んでおります。今は建てる事ができない、鉄筋コンクリート造り4階建てという立派なものです。その正門前には、大きな桜が一本立っており、樹齢50年以上か、庭全体や道路迄枝を延ばしている立派な桜です。

気候の変動で早く咲いたり遅れたり、やきもきされておりましたが、今年4月9日の入学式は満開の中で行う事ができました。

私共老齢の役員どうし、見事な桜を見上げては感心しきりです。又々桜談義となり感激しましたが、人の心を癒し、和ませてくれる桜はやはり、日本の木を代表すると思いました。

しかしながら、若木の桜は手入れが大変です。虫が付き、木質弱く枯れることもありま

す。私共、植えはしたが、育てる事ができず、無責任な、植えばなしということになります。そこで大変勝手なお願いですが、学校関係の方々、地元の方のお力添えを頂き、丈夫に育てて頂きたいと存じております。

いつの日か、何年後かに、元気に育った桜を愛でながら花見ができれば、更に幸せな事ではないかと思ひます。

東京会工会百周年記念事業の一環を、ご披露させて頂きました。ありがとうございます。

初めての給料

(昭34 K卒) 荒井士郎

高2の夏休みは、土方のアルバイトに精を出し1万円程働いた。寮業工学ハンドブックを買い、残りはパンと中華ソバ、会津館、銀座座、栄楽座と秋のうちに消費してしまっ

た。3年の夏休みは、現業実習という事で同級生の高木君と、東京大田区蒲田の各務クリスタルSSガラス会社で1ヶ月働いた。大竹科長、高畑先生から、優秀な先輩が2名就職しているのを見て汚くない様すっかりやる様に訓示を受けた。優秀な先輩が勤めている会社に自分が行ける事が誇らしく思えた。先生方の指導を守り真夏の暑い中、黒の学生服を着て上京。蒲田駅には、先輩が迎えに来てくれており、服装を見て笑われた。駅から十分程歩いて寮に着いた。古くて汚いひどい建物で部屋の中もひどかったが、2人の先輩を含め12畳に6名で、1ヶ月の生活がスタートした。翌日、学生服を着て会社に出向いた。会社は新しい立派な建物で、守衛所ですら服装に驚かれ、構内に入ってから奇異の目で見られ有名人名人になってしまった。その様な中で1ヶ月働き、食費を差引いて4千円程支給され帰った。

卒業と同時に何となく入社。初任給は8、400円という事だったが内容については深く聞いていなかった様に思う。4月末初めて給料をもらう事になったが給料明細を見た何と税金が引かれていた。これはなんじゃ、何で俺から税金を引くの、田舎で親父が払っているのだからないか。なぜ、俺がここで働いているのが国はわかるのか。アルバイトで1万円、昨年の夏の実習で4、000円。税金は引かれなかったのになぜ？無知というのは幸せなもので、即人事課に聞きに行った。人事課長は、あきれた様な態度で、働いてお金を得ると必ず税金がかかる、個々に申請したり納付したりしていると不合理なので、会社が委託され代行している事を

説明されたが、なかなか理解出来なかった。他の者が何も言わないので、そんなものかと納得することにした。その後、4年でケツを割り退社した。

会津人らしく「ならぬものはならぬ」の姿勢を買き、決して妥協や手抜きは許しませんでした。一方で、伝統工芸が生き残るために、常にお客さんの反応についても頭に入れていました。昭和46年ごろには会津地方の若手工芸士で研究会を結成、作品を持ち寄り展示会を開催しては、会津の伝統工芸の在り方をお客さんにも交えて語り合ったものです。

佐竹さんには、私が3月まで勤務していた会津大短期大学で、昭和55年から平成5年まで、非常勤講師として学生へ指導をお願いしました。夜遅くまで寮の前で学生を指導する姿は今でもまぶたから離れません。しかも、技術を教えるだけでなく、作法の伝授についても熱心でした。

志半ばでの旅立ちは無念ですが、佐竹さんの伝統工芸への熱い思いを受け継ぐことがわれわれの役目だと思っています。

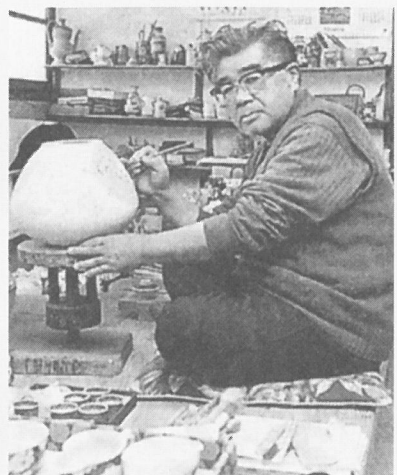
伝統工芸振興に力

佐竹富三さんを悼む

(昭33 L卒) 漆工芸家 須藤紀雄

元会津大短期大学部教授

本当に焼き物を愛していた方で、伝統文化として残すために力を注ぎました。広く一般市民に焼き物の素晴らしさを知ってもらおうと自宅の隣には資料館を造り、公開していました。平成5年に会津本郷焼が国指定伝統的工芸品となつてからは県や東北の伝統工芸士会長として、国や県に業界への理解を深めてもらうために東奔西走していました。私が会津漆器や本郷焼、木工など工芸士らでつくる会津工芸新生会の会長を務めたときにも副会長としてより立ててもらいました。



会工同窓会幹事・電友会理事・猪苗代会工会幹事長 歳月の経過は本当に早いものです。朝4時半に起きて、今は廃止となった沼尻高原鉄道に樋ノ口駅で乗り、川桁駅で磐越西線に乗り継いで通学した頃がなつかしい。卒業してから39年、間もなく還暦を迎える年代になったが、校舎改築の槌音を聞きながら過ごした3年間の思い出は多く、母校への想いはつきない。「歴史と伝統を誇る会工の百年記念を成功させよう」と実行委員会を基軸に県内外の地域、職場職種の同窓会が一堂となり、精力的に動いたことがつい昨日のように感じられる。会津風雅堂での記念式典は重厚で、内容のある一世紀の歴史を刻む場にふさわしいものでした。また、同窓会の長年の懸案であった「同窓会館(鶴翔会館)」の建設も、大きな記念事業として、取り組みがなされ、時期を逸することなく竣工できたことは、母校を支えた先人達の偉業を讃え、伝統を受け継いで前進する同窓会の大きな成果であり、金字塔です。今後、母校の教育面や生徒の課外活動などに活用され、「文武両道」「質実剛健」「至誠勤労」という校風を育成し、伝承する舞台になるものと確信しています。私は年間のスケジュールの中に、同窓会関連の行事を優先して組み込んで、出席を心掛けています。会工同窓会、電友会、猪苗代会工会、それぞれその役員という立場もありますが、会員

今年度受賞・活躍された方

瑞宝双光章

鈴木信雄

昭和27年C科卒

会津若松市

民事・家事調停、粘り強く

◆瑞宝双光章

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

活躍・功績を紹介しておりますが、日展会友、日本新工芸家連盟評議員、審査員、平成12年度文化栄誉賞を受賞。現在は郡山市の文芸連役員として活躍し郡山市工務所を設立して市民の指導に当たっております。この度の功績が認められ受賞となったのです。

この度の両氏の受賞は郡山会工会にとっても誇りであり今後の活躍を期待しております。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

◆瑞宝双光章

鈴木信雄さん 70
会津若松市米代2ノ6
元調停委員



なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

教育功労者

金田寛

昭和21年M科卒

郡山市

折笠光助

昭和33年工芸科卒

郡山市



会津若松ライオンズクラブ会長

手代木利夫

昭和28年A科卒

会津若松市



会津若松ライオンズクラブ 手代木利夫会長(左)、星七郎幹事(右)

会津若松市と横須賀市の友好都市提携を契機に会津若松ライオンズクラブと横須賀中央ライオンズクラブが友好クラブ提携を締結。

停委員になり、三十二年間を務め、数多くの民事調停、家事調停に取り組みできた。会津若松調停協会長も務め、ベテランとして困難なケースを担当する。皆さんの幸せを願って努力してきました。今回の栄誉を心から喜んでいまめず、粘り強く調停にあたると、笑顔で話した。

昭和42年M科卒
佐藤義之

駒澤大学箱根駅伝監督
昭和52年丁科卒
大八木弘明
会津若松市

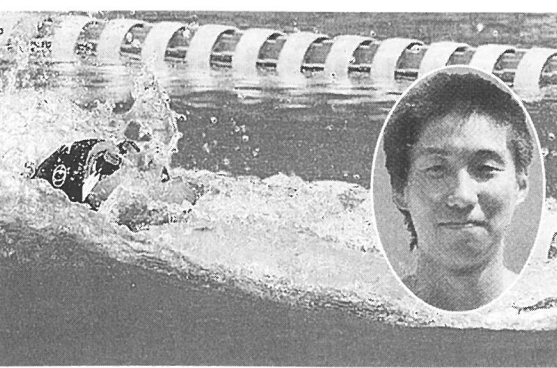


昭和15年C科卒
小川 彰一

成人男子百メートル背泳ぎ
大会新

平成15年F科卒
山口雅文

和41年K科卒 田代清治右衛門



昭和49年L科卒 須藤靖典

日本現代美術展審査員
渡辺 正夫
昭和27年K科卒
会津本郷町



昭和50年K科卒
宗像利浩

会津本郷町



親子の、現代の最高レベルの陶芸家たちが出揃る兩年開催の公募展、今回目の招待作家三十人の中には伊藤赤木、酒井研十郎、徳田八十吉、鈴木重雄の四人の人間国宝が含まれている。

寛一さんは七回展である「推薦招待」に選ばれている常連、利治さんは第十四回展で準大賞、前回は文部科学大臣賞を受賞し、今回初めて招待作家に選ばれた。

会期は東京展は来年五月、大阪展は七月で、作品出品は「手前」。

昭和30年A科卒室井勝己

3年E卒)
7年M卒)
1年C卒)
3年C卒)
0年C卒)
5年K卒)
0年C卒)
7年T卒)
6年C卒)
6年K卒)
2年M卒)
2年C卒)
致します



校歌から

① 専門課程は、いま。

■主任 二瓶 賢一

平成16年度より、インテリ
ア科の募集停止と建築科が科
名変更し、「建築インテリア
科」となりました。

科の内容はこれまでの建築科・インテリア科の伝統を受け継ぎ、両科の内容を融合して、建築インテリア技術者を育成することを目的とした内容となっています。

具体的には、座学（教室で学習する科目）を「建築インテリア構造」等、インテリア系の科目と建築系の科目を融合した学校設定科目により学習します。また、実習等においては建築系の実習の他、家具製作や漆芸・乾漆・CGなどにも取り組み、幅広い知識と技術を身につけることのできるよう指導しています。

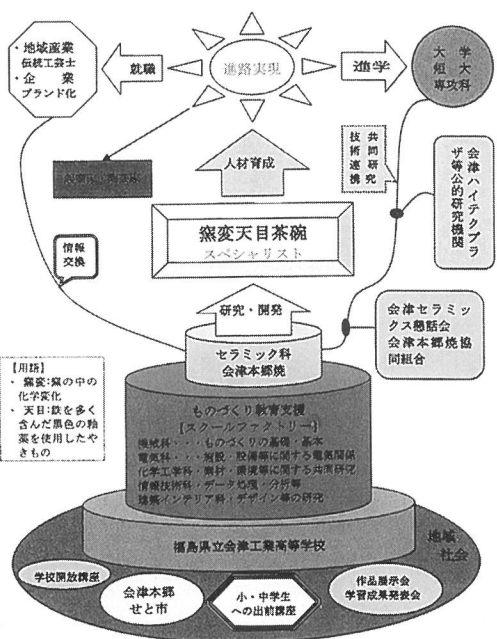
現在1年生と2年生の在籍ではありませんが、生徒の進路希望実現においては同窓会会員の皆様のお世話になることと思います。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



ようへんてんもくぢやわん
窯変天目茶碗の制作を
通したスペシャリスト
育成への挑戦

■主任 佐藤 正道

先進技術や技能を研究し、専門分野の人材育成を支援す



る文部科学省の事業「目指せるスペシャリスト（スーパー専門高校）」に、本校が県内で初めて指定を受けました。本校では、鉄を含んだ黒色の釉薬「天目釉」を用いた陶磁器制作を研究し、国宝級天目茶碗の再現、新たな釉の開発を目指します。

具体的には、セラミック科を中心に他学科と連携しながら、窯の中で色・結晶等の化学反応(窯変) 調合割合、焼成条件等を科学的に研究し、また、研究では会津本郷焼の窯元、県ハイテクプラザ、会津大学、日本大学等との産学官連携のもと、技術指導を受けながら三年後には実用化と地場産業の振興へ繋げ

ていく予定です。

国宝天目茶碗（五品のみ）を再現するために多くの陶芸家を取り組んでいます。極めて難しく現代でもその製法は未だ解明されていません。芸術と科学を融合することで再現性が高まるものと考えます。したがって、技能習得の他にも、分析評価し考察する力を兼ね備えたスペシャリストの育成を目指します。

オンリーワン・ナンバーワンにもなれる研究テーマです。生徒に夢と希望を与えつつ、結果を出せるよう生徒職員一丸となって取り組んでいきます。そしてより一層、地域から期待され、求められる人材を育成していきます。

■主任 石崎 晃

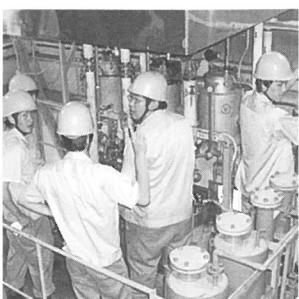
本年度県内トップの倍率
(2倍強)を勝ち抜いた新入
生40名を迎え、総勢118名
(内女子11名)で新しいスタ

ートをした。各学年共に元氣あふれる会工健児と、おしとやかな女子生徒たちが、実に高校生らしい生活を展開している。3 学年においては、大河原教諭指導のもと、第一・



二回校内漢字テストで平均99・5をマークし、全員100点の高い目標で頑張っている。一・二学年も先輩に続け、とばかり、各種資格取得にも意欲的に活動している。

また、部活動に所属し頑張



■主任 佐竹 勝行

この春の人事異動により、永年本校の教育発展の為に御尽力なされました佐藤信二先生がご退職なされました。また、退職後も講師として応援

テニス部

顧問◎芳賀栄理子
海老沢康広
加藤 善範

テニス部は、3年生9名、2年生11名、1年生12名、計32名で活動している。学校にコートがないため、例年鶴ヶ城のテニスコートや総合運動公園、会津ドームなどを有料で使用しているが、部員が例年になく多いため、最近は総合運動公園が主な活動場所となっている。学校からかなり離れた場所に使用コートがあり、不便な状況ではあるが、部員は自転車で移動し、元気に活動している。

今年度のインターハイ会津地区大会学校対抗では準優勝、ダブルス優勝、準優勝、3位、4位と好成績を修めたものの、同県大会では力及ばず初戦敗退に終わった。県大会出場のみで終わらず、活躍していけるように頑張らせた。

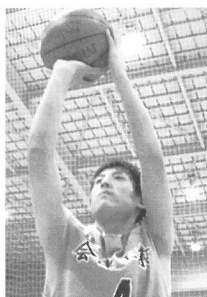


バスケットボール部

顧問◎加藤 芳宏
数間 一博

バスケットボール部は、今年度3年生9名、2年生15名、1年生12名、マネージャー5名という大所帯で活動しております。先日のインターハイにおいては、会津地区大会が惜しくも準優勝、県大会は日大東北（優勝チーム）に1回戦で敗れるという結果に終わりと、県ベスト4以上を目指すという目標はかなえられませんでした。

1・2年生についても、相変わらず、飛び抜けて身長の高い生徒や高い技術力をもった生徒がいないので、全員で協力して走るバスケットを実践していきたいと考えています。



スキー部

スキー部の現実

顧問◎稲生 義則
栗田 克志
佐久間智広
大竹 典和
増子 美樹
高橋 俊浩

水泳部

会津地区水泳大会優勝 大会新3つの記録

顧問◎岩澤 巖
長崎 敏秀

今年度、部員20名でスタートし、6月10、11日の2日間、地区大会が行なわれました。その結果、優勝は勿論のこと、大会新が3つも出ました。3年建築科の山田篤未君が自己の持つ記録、1000m、2000mの自由形のタイム更新、又2年建築インテリア科の北條巧君も自己の持つ記録400m自由形のタイムを更新してくれました。2人の選手は県水泳界のトップレベルの選手であります。地区大会を終え、これから続く県大会、東北大会へと、そして全国大会へ向けて泳力と精神面のサポートをさせていただきます。



バドミントン部

顧問◎渡部 訓生
滝田 隆介

今年度バドミントン部は、男子16名女子3名でスタートしました。選手それぞれが自分の目標に向かって、毎日厳しい練習をおこなっています。6月におこなわれた県大会では、団体戦では1回戦で白河高校に敗れてしまったものの、最後の大会このままでは終われない、と3年生が個人戦で奮起し、強豪選手相手に強気に最後まであきらめずにシャトルを追いかけて、会津工業の名に恥じない素晴らしいプレーをしてくれました。

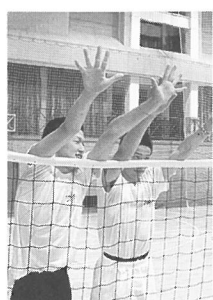
クラブガイド

ツ、細心の神経を使ってミスを少なくすること、日常の生活での態度が試合に如実に反映することなどを理解してきたチームは、それなりの実績を残せるようになった。地区大会では、左記のような成績を残せたが、県大会においては、ラング的に、Bのレベル。パワーとスピード不足、正確さにおいて未熟であり、今後の課題である。

・全会津高校春季選抜大会
優勝 白井・渡部組
3位 市川・柚木組
・インターハイ地区大会
学校対抗 準優勝
個人 3位 市川・柚木組
・インターハイ県大会
5組出場し、3回戦まで進出した。

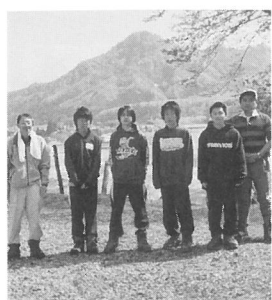
バレー部

顧問◎山寺 清司
馬場 正紀
田部 栄子



山岳部

「9名の新入部員を迎えて！」
顧問◎中野 善司



大塚 正幸
鶴巢 幸江

剣道部

顧問◎丹治 一記
海和 寛

第51回福島県体育大会県道競技は、私達にとってあまり良い結果に終わったとはいえないませんでした。

初戦、福島高等専門学校と当たりました。試合直前、みんな緊張する中、部長に「負けても良いから前へ出る。」と言われ、少し緊張がほぐれました。

先鋒戦、3年間一番頑張ってきた部長だけでなく、無駄の無い動きと素早い攻めで勝利しました。

次鋒戦は、先鋒が勝ったという事で、つなげなくてはならないというプレッシャーがあり、動きが固くなってしまいました。中堅、副将戦は一年生とは思えない素早い攻めで惜しい所が何本もありましたが、油断したところを一本取られ、負けました。

そして、大將が引き分け勝ちでチームの勝ち負けが決まるところで、エース五十嵐が見事な面を決めて工業が勝利しました。

続く2回戦、白河旭高校との試合で工業は負けてしまいました。

空手部

顧問◎清水 裕二
高橋 弘光

今年度の空手部は、3年生1人、2年生5人という大変寂しい状況で始まりました。しかし、1年生が多数加入し、さらにその中に部創設以来はじめてと思われる女子が選手として加入して、大変活気が出てきました。

会津地区では、空手部が存在する学校が大変少なく、いさなり県大会となります。今年度はいわき地区でインターハイの県大会が開催され、団体の組み手と個人の組み手に参加してきました。結果は、団体が1回戦で埼玉工業に4対1で勝利し、2回戦で優勝校の学芸福島と対戦し、0対5で完敗でした。個人戦も全員2回戦までに敗退し、レベルの違いを味わってきました。

3年生はこの大会で引退し、新人チームとなります。今後は一人一人のレベルを上げ、より上位に食い込めるよう頑張りたいと思います。

サッカー部

顧問◎鈴木 哲
佐野 正司
岩田 善一

県大会を終えて
平素よりサッカー部の活動



対して、ご声援とご鞭撻を頂き誠に有難うございます。お陰様で、今年は新入生が25名加入し、部員総数57名（内女子2名）で活動しております。少々グラウンドが手狭になったものの、選手たちの掛け声が絶えず、活気に満ちております。

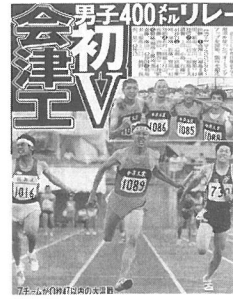
さて、去る5月28日からいわきで行われた県高校大会に出場しました。初戦の相手は目下、県選手権大会三連覇中の福島東高校。組合せが決まったときから、選手たちの意気込みは並々ならぬものでありました。

当日は天候にも恵まれ、保護者の方々も多数応援に駆けつけて下さいました。試合は、常に先制を許す厳しい展開となりましたが、選手の闘志は延長戦終了まで途切れることなく、最後はPK戦まで纏れ、5対4の僅差で劇的な勝利を

手にすることができました。
翌日、準々決勝の郡山商業
高校戦に臨み、延長戦O対O
の末、惜しくもPKで破れる
結果となりましたが、選手一
同、会津の代表として戦い抜
いた充実感で一杯でした。
次は、夏の選手権大会に向
けて地道な努力を積み上げて
行きたいと思っています。
今後も、部員一同の活躍を見
守って頂ければ幸いです。
末筆ながら、同窓会の皆様
方のご健勝をお祈りし、ご報
告とさせていただきます。

陸上競技部

顧問◎石崎 晃
大和田好倫
菅野 幸雄



柔道部

顧問◎白岩 格
山野辺幸喜



8月13日にOB会よりいただいた応援旗

ボクシング部

顧問◎篠原 宏和
増子 美樹



新体操部

顧問◎鈴木 聖也
高畑 利夫



吹奏楽部

顧問◎佐藤 香織
鈴木 陽子
菅家 寿和
根本 平造



今年度吹奏楽部は16名の新
入生を迎え38名でスタートし
ました。去る全会津地区音楽
学習発表会では、吹奏楽コン
クールの課題曲であるマーチ
「春風」と、高校生フラスパ
ンドを描き、大変話題になっ
た映画より「SING SING SING」を演奏し好
評を博しました。技術面では
まだまだ課題が残るものの、
部員達の会工フラスバンドに
かける情熱には、聴く者の心
を揺さぶる何かがある！と顧
問として今後の飛躍に大きく
期待するものであります。
さて現在は7月に行われる
コンクールに向け、県大会出
場を目標に日々練習に励んで
います。

卓球部

顧問◎渡部 鉄仁
伊藤 健

平成17年度は3年生4名、
2年生6名、1年生15名の計
25名で活動をしています。高
校体育大会の会津地区大会で
は男子2名がシード選手とな
り、結果として団体戦第5位、
ダブルス第3位、シングルス
第3位とベスト16位に入賞し
て、福島県大会に参加しまし
た。県大会では上位に入賞は
できませんでしたが、今後の
総合体育大会や秋季大会、新
人戦に向けて、2年生を中心
に日々、熱心に練習に励んで
います。

IT研修部

顧問◎佐久間智広
本田 文一

IT研修部は、今年度から
時代のニーズに答えるべく開
設されました。
部活内容として、IT関係
各種大会に向けて頭脳の特訓
とロボット等の製作に励んで
います。また、情報技術者試
験に向け、数多くの取得者を
目指します。

各種大会は、大きく分けて
①ハードウェアに関する部門
マイコンカー競技とロボ
ット相撲があります。県大
会東北大会に向けて、マシ
ンの製作と調整を行って
います。
②ソフトウェアに関する部門
定例の会津大学で行われ
る「パソコン甲子園」に出
場します。CG部門とプロ
グラミング部門があり、今
年のテーマに向けて作品の
制作とプログラミング能力
を高める努力を日々行っ
ています。

すばらしい結果ができるよう
に、部員一人一人が意識をも
って頑張ります。

機械科研修部

顧問◎平山 賢実
栗田 克志
佐竹 勝行

機械科研修部の活動計画に

陶芸クラブ

地域振興や商店街の活性化、
高校生の学習体験、学校と地
域の交流を図ることを目的に
「ふれあい陶芸教室」が7月
26日・8月2日の2日間、会
津坂下町ふれあいプラザば
んで開催された。



会工生に指導を受け、陶芸に挑戦する子供たち

インターハイ準優勝

3F 佐藤大五郎



工芸デザイン科目創設

文部科学省から「目標」として、新設「工芸デザイン」科目の創設が求められている。会津工業高等学校は、この機会に「工芸デザイン」科目を創設し、生徒の創造性を伸ばすことに努めている。この科目は、工芸の基礎知識と技術を学ぶだけでなく、デザイン的思考を養うことが目的である。生徒は、実際に作品を作製しながら、美的感覚や創造力を磨いていく。また、この科目を通じて、伝統的な工芸技術の継承と、現代のデザインとの融合を図ることが期待されている。



「スーパー専門高」の会津工

「スーパー専門高」の会津工

「窯変天目茶碗制作」へ 全学科で支援
本校は、伝統的な工芸技術の継承と、現代のデザインとの融合を図ることが目的である。この科目を通じて、美的感覚や創造力を磨いていく。また、この科目を通じて、伝統的な工芸技術の継承と、現代のデザインとの融合を図ることが期待されている。

目指せスペシャリスト

文科省「目指せスペシャリスト」事業
会工高を県内初指定
天目釉で高級陶磁器研究

17文科初第213号
目指せスペシャリスト指定書
福島県立会津工業高等学校
目指せスペシャリスト実施要項
(平成15年5月7日文部科学大臣決定)
に基づき貴校を平成17年度から
平成19年度まで目指せスペシャ
リストに指定します
平成17年6月16日
文部科学大臣 中山成彬

箏曲同好会

顧問◎鈴木美枝子
佐藤 正道

私たち箏曲同好会の活動も
平成13年秋のスタート以来
5年を迎えようとしています。
日本の伝統文化に触れ、
豊かな感性と品位を養ってほ
しいという思いのほかに、年々
増えつつある女子生徒の、活
動する場を広げようという目
的もありました。また、箏は
桐でできており、特に会津桐
で作られた箏は最高級だと言
われておりますので、もっと
もっと盛んになるべき土地柄
かとも思われます。

ゴルフ同好会

顧問◎高橋 徳朗
仲川 康紀

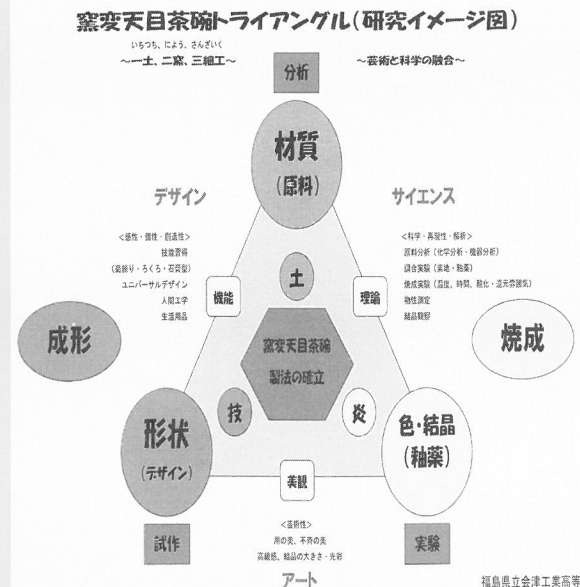
部員13名で放
課後練習をして
います。8月3
日、県ゴルフ連
盟より「ネット
2はり、ボール
300個、クラ
ブ6セット」寄
贈されました。

演劇部

顧問◎平野美起子
大河原 茂



昨年度の主な活動は、県高
等学校音楽発表会、チャリテ
ィーショー、県総合文化祭ア
トラクションへの出演でした。
今年度も6月3日に風雅堂で
行われた会津地区発表会に参
加し、「箏の音が心地よく心
に染みわたる、魅力ある素敵
な演奏でした。」「高度な技術
も加わって、息の合った演奏
が、日本の音の美しさと雅び
な世界を表現していました。」
と講師の方々から、うれしい
おほめの言葉をいただきました。
今後とも心に響く演奏を
目指し、練習に励みたいと思
います。また、今秋もチャリ
ティーショーへの参加
を予定して
おりますの
で、足を運
んでいただ
ければ幸い
です。どう
ぞよろしく
お願いしま
す。



会工同窓会役員

■本部

顧問	吉田一榮	20 K	会津若松市
会長	山内清司	13 L	会津若松市
梅津正夫	32 T	会津若松市	
副会長	手代木利夫	28 A	会津若松市
渡部藤雄	31 E	岡山県倉敷市	
星 芳雄	36 E	愛知県名古屋市	
荒井士郎	34 K	神奈川県	
荒井久	18 T	郡山市	
星 武	27 E	福島市	
佐藤 保	33 C	猪苗代町	
大堀順一	27 C	会津坂下町	
菅沼章生	29 C	湯川村	
鈴木 仁	21 M	西会津町	
手代木徳夫	28 E	会津若松市	
平田靖雄	25 M	会津若松市	
坂場恒雄	34 K	会津若松市	
若狭春生	38 K	会津若松市	
幹事長	小沼冬生	29 E	会津若松市
副幹事長	栗城和夫	41 M	会津若松市
幹事	伊藤利博	26 E	会津若松市
齋藤照雄	26 E	会津若松市	
伊藤 博	23 M	会津若松市	
五十嵐時雄	30 A	会津若松市	
加藤公司	36 A	会津若松市	
佐藤幹夫	41 G	会津本郷町	
加藤昭雄	33 T	河東町	
小林憲一	31 E	会津若松市	
片平 寛	32 M	会津若松市	
江花光泰	31 L	北会津村	
齋藤四志男	38 A	会津若松市	
小山源昭	34 A	会津若松市	
五十嵐昭夫	35 A	さいたま市	
村山幹夫	41 M	名古屋市中区	
大竹文夫	31 C	京都府精華町	
菊地寿雄	48 D	会津若松市	
金田 寛	21 M	郡山市	
神田信之	31 M	福島市	
長谷川与一	40 E	猪苗代町	
猪俣勇一	43 G	会津坂下町	
佐野常雄	31 E	湯川村	
小島淳一	41 M	西会津町	
山岸 清	41 A	会津若松市	
根本一雄	36 E	会津高田町	
木村洋一	50 K	会津本郷町	

平成17年8月現在

編集後記

初秋の季節となりましたが、
会員の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、今年度の会報は一ヶ月早く発行となりました。これも会員の皆様のご協力あつての事です。さらに充実した紙面を考えておりますので、各支部の活動状況、写真、簡単なコメント等事務局へお願いしたいと思ひます。この紙面でたくさん紹介できるのが会工同窓会の活性化につながるバロメータです。よろしくお願ひします。

梨子本 傑

各支部役員名

(平成17年8月現在)

地 区	役 職	名	前	卒業年	地 区	役 職	名	前	卒業年	地 区	役 職	名	前	卒業年					
東 京	会 副	幹 副	計 計	常 任	会 会	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹					
															長 長	荒岡金五	井島子	土文昌清昭	4 9
															長 長	五十嵐芳	藤原川上	林木部	猪 苗
															幹 幹	伊田鈴	木村山	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
東 海	顧 名	會 副	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹					
															長 長	荒岡金五	井島子	土文昌清昭	4 9
															長 長	五十嵐芳	藤原川上	林木部	猪 苗
															幹 幹	伊田鈴	木村山	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
近 畿	會 監	相 會	務 局	計 計	常 任	會 會	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹					
															長 長	荒岡金五	井島子	土文昌清昭	4 9
															長 長	五十嵐芳	藤原川上	林木部	猪 苗
															幹 幹	伊田鈴	木村山	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
若 松	會 副	幹 幹	計 計	常 任	會 會	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹	幹 幹					
															長 長	荒岡金五	井島子	土文昌清昭	4 9
															長 長	五十嵐芳	藤原川上	林木部	猪 苗
															幹 幹	伊田鈴	木村山	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代
															幹 幹	伊田鈴	川 野	山 野	代